

スポーツ庁説明資料

スポーツツーリズムとは

我が国の優れた
スポーツ資源



旅行／観光
ツーリズム

世界的にもハイレベルな 観るスポーツ

ビジターの観戦者がご当地グルメや周辺観光を楽しみ、また観光客が滞在プランの一つとしてスポーツ観戦も加えることで、旅行内容の充実のほか、各スポーツの普及振興、そして地域活性化を目指す。

プロ野球、Jリーグ、ラグビー、バレーボール、プロゴルフ、大相撲、F1、柔道、総合格闘技 .etc

世代を超えて人気を集める するスポーツ

マラソン等の参加者が応援の家族と共に温泉など周辺観光を楽しみ、また観光客が入浴前の一汗としてテニス等に勤しむことで、旅行内容の充実のほか、健康の増進、スポーツ施設の有効利用、スポーツ用品・ファッションの需要喚起、そして地域活性化を目指す。

マラソン、ウォーキング、サイクリング、登山、トレッキング、トライアスロン、スキー、ゴルフ、草野球 .etc

地域や国が一体となり携わる 支えるスポーツ

スポーツチームの地域経営や市民ボランティアとしての大会支援、地域や国を挙げての国際競技大会・キャンプ（スポーツ合宿）の誘致により、交流人口の拡大、地域活性化、地域・国の観光魅力の効果的発信を目指す。

プロリーグ運営、国体、インターハイ、マラソン大会、合宿誘致、運動会、五輪、各種国際大会、各種世界大会、総合型地域スポーツクラブ .etc

地域スポーツコミッションへの活動支援

(前年度予算額: 42,243千円)
28年度予定額: 42,243千円

事業内容

地方自治体、スポーツ団体・企業（スポーツ産業、観光産業）等が一体となり、「する」「観る」「支える（育てる）」スポーツや、スポーツを観光資源としたツーリズム等による地域活性化に取り組む組織（地域スポーツコミッション）が行う**新たなスポーツイベントの開催、誘致等の活動に対して支援**を行うことにより、**スポーツ振興、スポーツを核として地域活性化の促進を図る。**

具体例

- 地域のスポーツ資源（プロスポーツチーム、スポーツ施設、スポーツ大会、自然環境等）の活用
- 国際競技大会、イベント誘致等に向けたPR活動
- スポーツ産業関連の新たなイベントの創出のためのセミナー等の開催



<地域スポーツコミッションの活動事例>

◆「さいたまスポーツコミッション」の活動



2015ツール・ド・フランス
さいたまクリテリウム
➤ 経済効果: 約25億円
➤ 観客数 : 約9.3万人

J.COM presents
2015ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの様子
©PhotoYuzuru SUNADA

◆「十日町市スポーツコミッション」の活動



➤ 2002年FIFAワールドカップ日韓大会のクロアチア代表チームのキャンプ地誘致。
➤ 総合型スポーツクラブを中心に関係者が連携してシャッター通りとなったメインストリートでウォーキングを実施。
➤ 平成25年に総合型スポーツクラブ、体育協会、観光協会等が連携した「十日町市スポーツコミッション」を創設。